

令和 2 年 4 月 14 日
産業経済局観光課

令和元年次 外国人観光客数について

訪日外客数の推移	・・・ 2
訪日外国人データ	・・・ 3
令和元年 北九州市への外国人観光客数について	・・・ 4

訪日外客数の推移

出典：日本政府観光局(JNTO)

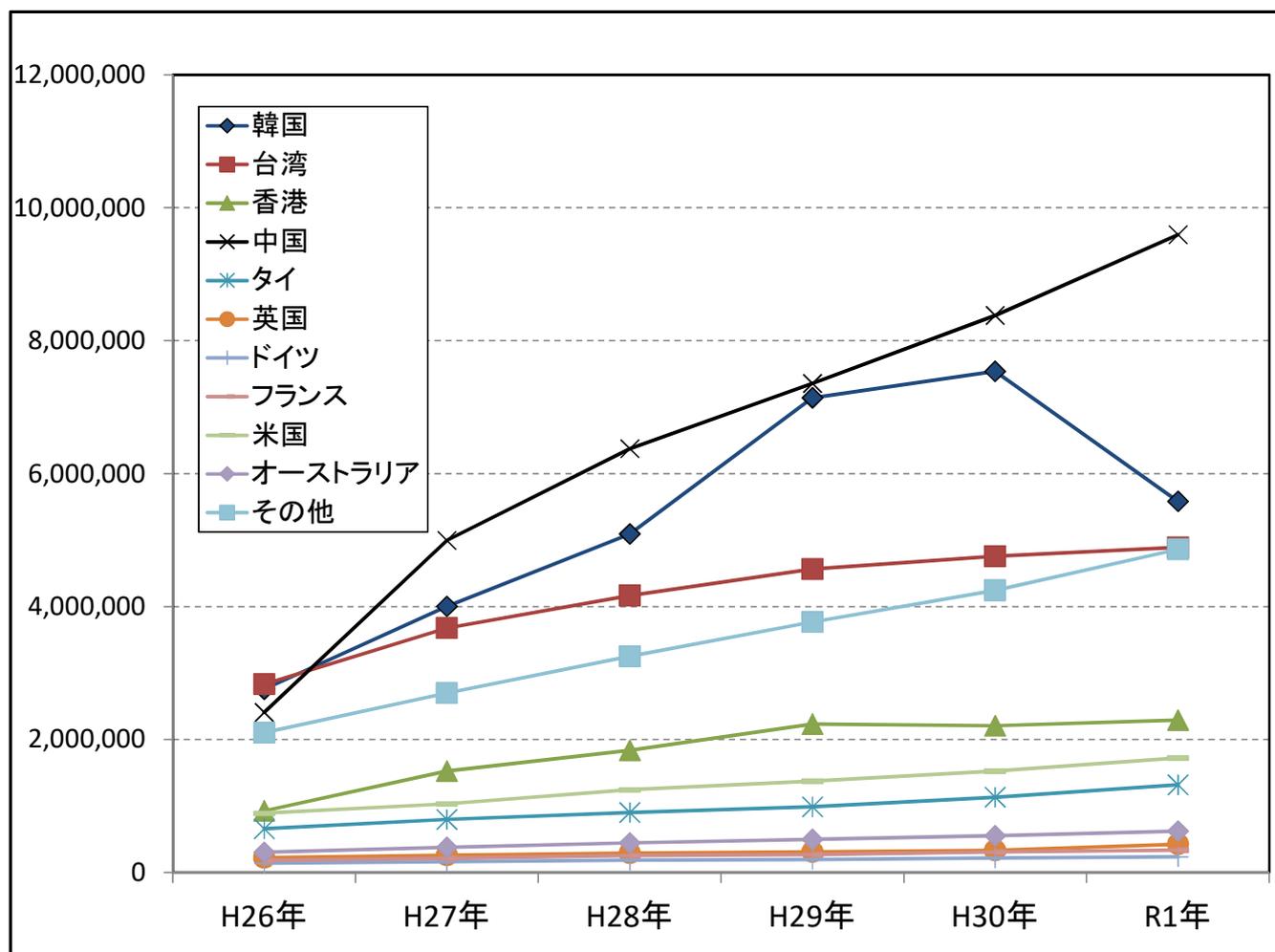
※伸率は前年比を表す。

単位：人数(人)

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年		前年比
韓国	2,755,313	4,002,095	5,090,302	7,140,165	7,538,952	5,584,597	17.5%	▲ 25.9%
台湾	2,829,821	3,677,075	4,167,512	4,564,053	4,757,258	4,890,602	15.3%	2.8%
香港	925,975	1,524,292	1,839,193	2,231,568	2,207,804	2,290,792	7.2%	3.8%
中国	2,409,158	4,993,689	6,373,564	7,355,818	8,380,034	9,594,394	30.1%	14.5%
タイ	657,570	796,731	901,525	987,211	1,132,160	1,318,977	4.1%	16.5%
英国	220,060	258,488	292,458	310,499	333,979	424,279	1.3%	27.0%
ドイツ	140,254	162,580	183,288	195,606	215,336	236,544	0.7%	9.8%
フランス	178,570	214,228	253,449	268,605	304,896	336,333	1.1%	10.3%
米国	891,668	1,033,258	1,242,719	1,374,964	1,526,407	1,723,861	5.4%	12.9%
オーストラリア	302,656	376,075	445,332	495,054	552,440	621,771	2.0%	12.5%
その他	2,102,422	2,698,898	3,250,358	3,767,530	4,242,590	4,859,899	15.2%	14.6%
総数	13,413,467	19,737,409	24,039,700	28,691,073	31,191,856	31,882,049	100.0%	2.2%

◇注：訪日外客数(訪日外国人旅行者数)は、法務省の出入国管理統計からJNTOが独自に算出した数値。

◇注：訪日外客数(訪日外国人旅行者数)は、船舶観光上陸許可者(クルーズ客)を含む。



訪日外国人データ（令和元年度）

出典：訪日外国人消費動向調査（観光庁）

	訪問者数 (人)	1人当たり 旅行支出 (円/人) (A)	平均泊数 (泊) (B)	1人1泊 当たりの 旅行支出額 (A) / (B)	旅行消費額 (億円)
韓国	5,568,997	76,138	5.1	14,929	4,247
台湾	4,609,007	118,288	6.1	19,391	5,517
香港	2,252,080	155,951	6.1	25,565	3,525
中国	7,995,815	212,810	7.5	28,374	17,704
タイ	1,316,885	131,457	8.8	14,938	1,732
英国	412,848	241,264	12.0	20,105	999
ドイツ	229,430	201,483	14.1	14,289	465
フランス	335,862	237,420	17.1	13,884	798
米国	1,700,805	189,411	12.4	15,275	3,228
オーストラリア	610,955	247,868	12.9	19,214	1,519

※訪問者数は、船舶観光上陸許可者（クルーズ客）を除く

◇訪日外国人消費動向調査（国土交通省観光庁）とは

1. 調査の対象

(1) 調査対象者

トランジット、乗員、1年以上の滞在者等を除く日本を出国する訪日外国人旅行者

(2) 調査標本数

四半期毎に総数 34,964 票を目標に調査を実施（年間 139,856 票）

2. 主な調査事項

回答者の属性（国籍、性別、年齢等）、訪日目的、消費額など

令和元年 北九州市への外国人観光客数について

- ◇ 令和元年の外国人観光客数は55.6万人。前年から13.5万人減少。特に韓国からの観光客が13.4万人減少（対前年比▲39.1%）と大きく減少。
- ◇ 本市に宿泊した外国人宿泊客数は23.7万人。前年から5.6万人（▲19.1%）減少。

◆国籍・地域別内訳（推計※）

（単位：万人）

	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年		前年比	増加数
韓国	8.9	13.4	33.1	34.3	20.9	37.6%	▲39.1%	▲13.4
台湾	8.2	12.0	16.8	17.0	19.9	35.8%	+17.1%	+2.9
中国	3.8	4.7	13.4	11.4	7.7	13.8%	▲32.5%	▲3.7
香港	0.9	1.4	1.0	2.1	1.7	3.1%	▲19.0%	▲0.4
その他	3.4	3.4	3.9	4.3	5.4	9.7%	+25.6%	+1.1
計	25.2	34.9	68.2	69.1	55.6	100.0%	▲19.5%	▲13.5

※各ホテル・観光施設からの情報を基に推計

◆外国人宿泊客数（推計※）

（単位：万人）

	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	前年比	増加数
宿泊客数	12.4	15.6	21.6	29.3	23.7	▲19.1%	▲5.6

※各ホテルからの情報を基に推計

令和元年に本市を訪れた外国人観光客数は、55.6万人。前年から13.5万人減少（▲19.5%）と大きく減少した。

また本市に宿泊した外国人宿泊客数は、23.7万人と前年から5.6万人（▲19.1%）減少した。

国籍・地域別では、韓国が最も多く（20.9万人）、次いで台湾（19.9万人）、中国（7.7万人）、香港（1.7万人）の順となっており、これらの国、地域で全体の約9割を占めている。

今回の減少は、日韓関係の悪化により韓国から日本への観光客が大幅に減少したことや本市へのクルーズ船寄港数が減り、中国人観光客が減少したことが主な原因と考えている。

余白ページ

参考資料

令和2年度 関門エリア（門司港レトロ地区）夜間景観魅力向上事業の取組

1 概要

関門エリアの夜間景観の魅力向上により、にぎわいを創出するとともに、観光客数や滞在時間の増加を図ることを目的とし、令和2年度はノーフォーク広場、サイクリングロード、関門海峡ミュージアム及び三宜楼のライトアップ照明設置工事を行う。

2 予算

81,200千円（ライトアップ照明設置工事費等）

3 ライトアップ設置箇所（予定）

下記のとおり4ヶ所をライトアップする予定。

ノーフォーク広場	サイクリングロード	三宜楼
		
関門海峡ミュージアム		
 <div style="text-align: right; margin-top: 5px;">海側</div>	 <div style="text-align: left; margin-top: 5px;">山側</div>	

照明設備設置工事計画

○平成30年度 [5箇所 ■] 夜間の新たなにぎわいの創出

- ・リニューアルオープンする「門司港駅舎」をはじめ、海の玄関口である「マリゲートもじ」をランドマークとして際立たせる。
- ・さらに、レトロ中央広場や鎮西橋公園を夜間イベントの新たなにぎわい創出の場として活用できる空間とする。

○令和元年度 [5箇所 ■] 第1船溜まり周辺の求心力の向上

- ・第1船溜まり水面に暖かい光が映りこむ新たな景観を創出する。
- ・また、旧門司三井倶楽部や旧大阪商船、はね橋、旧門司税関をレトロな雰囲気に合わせてライトアップすることにより、第1船溜まりへの求心力を向上する。

○令和2年度(案) [4箇所 ■] 観光散策ルートの拡大

- ・門司港レトロ地区周辺に点在するシンボリック施設の魅力を際立たせるライトアップを行う。
- ・その他、和布刈エリア方面への遊歩道（海岸線）に連続する光の帯を作ることにより、夜間の観光散策ルートの拡大を図る。

